

第58回地域農林経済学会大会のご案内

2008年6月25日
地域農林経済学会

第58回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。会員の皆さまのご参加をご期待申し上げます。

1. 期 日 2008年10月24日(金) ~ 26日(日)

2. 日程および会場

2-1. 開催地：神戸大学農学部

住所：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

*連絡先：加古 敏之 Tel(078)803-5838 kako@kobe-u.ac.jp

金子 治平 Tel(078)803-6576 kaneko@kobe-u.ac.jp

2-2. 日 程

【第1日】10月24日(金) 地域シンポジウム(神戸大学農学部 C101 教室)

テーマ：「農業における多様な主体の協働の展開 - 農はみんなで創る - 」

シンポジウム [13:00~16:30] (受付開始 12:00)

【第2日】10月25日(土) 個別報告他(神戸大学農学部、滝川記念学術交流会館)

1. 個別報告 [9:30~15:30] (神戸大学農学部) (受付開始 8:30)

2. 総 会 [16:00~17:00] (神戸大学農学部 C101 教室)

3. 懇 親 会 [17:30~19:30] (神戸大学滝川記念学術交流会館)

【第3日】10月26日(日) 大会シンポジウム(神戸大学農学部 C101 教室)

テーマ：「続・地域の豊かさとは何か - 地域キャピタル論の可能性 - 」

シンポジウム [9:30~15:00] (受付開始 8:30)

【その他】

・編集委員会 : 10月24日(金) [16:30~18:00] 神戸大学農学部 A305 会議室

・支部代表連絡会議 : 10月24日(金) [17:00~18:00] 神戸大学農学部 A201 会議室

・現理事会 : 10月24日(金) [18:00~20:00] 神戸大学農学部大会議室

・新理事会 : 10月25日(土) [17:00~17:30] 神戸大学農学部大会議室

*大会会場の地図・交通案内等は、後掲【付-1】をご参照下さい。

2-3. 参加費用等

・大会参加費(報告要旨代を含む) : 一般会員 4,500円、学生会員 2,500円

・懇親会費 : 一般会員5,000円、学生会員3,000円

3. 大会シンポジウム 10月26日(日) [9:30~15:00]

テーマ：「続・地域の豊かさとは何か - 地域キャピタル論の可能性 - 」

座 長 池上 甲一(近畿大学)

第1報告 中村 貴子(京都府立大学)

- 「多様な生き物と共存する農の豊かさ 自然キャピタルの構築に向けて」
第2報告 澁谷 美紀（東北農業センター）
「商品化される暮らしを越えて 生活文化キャピタル」
第3報告 大森けんいち（近畿大学）
「地域経済ネットワークの再構築 地域キャピタルの経済学序説」
総括コメンテーター 秋津 元輝（京都大学）、飯國 芳明（高知大学）

本年度のシンポジウムの目的は、「地域の豊かさとは何か 農林業からの展望」の成果を受けて、その「豊かさ」の内実をどのように把握し、いかに発現させることができるのかについて議論を深めることである。「豊かさ」を具体的に捉えるための手掛かりとして、私たちは「地域キャピタル」という概念を導入し、できるだけ事例に即してその有効性を検証するとともに、農村地域の豊かさという問題意識を明確化するための方法論的妥当性についても論じたい。本年度はさしあたり、「自然キャピタル」「生活文化キャピタル」「経済キャピタル」という3つの側面から「地域キャピタル」に接近することとした。

第1報告（中村）では主として兵庫県豊岡市の「コウノトリ育む農法」を素材に、自然キャピタルという視角から農村の自然環境、生物多様性や空間を農村の生産・生活に組み込むことの意味について検討する。

第2報告（澁谷）では農村に数多く存在している民俗芸能を対象として、それが伝承される「場所」と「時間」の過程に注目し、とりわけ生活文化の持つ地域の豊かさの内実を浮かび上がらせる。

第3報告（大森）では、地域産業連関分析の枠組みを用いて、資本や信用の地域内循環による「地域内再投資」の経済学的意義を議論する。

なお、昨年度報告者（秋津）にもコメンテーターとして加わってもらい、議論の連続性を確保する。さらにもう1人のコメンテーター（飯國）からは独自の論点を提示してもらい、フロアーを含む全参加者の間で活発な議論を行いたい。

4. 地域シンポジウム 10月24日（金）[13:00～16:30]

テーマ：「農業における多様な主体の協働の展開 - 農はみんなで創る - 」

コーディネーター：加古 敏之（神戸大学）・中塚 雅也（神戸大学）

報告：1. 中溝 武夫（(株)トーホーCSR担当常務）

「企業のCSR活動としての兵庫県楽農生活センターへの参画」

2. 芦原 安男（兵庫県加古川市・八幡営農組合組合長）

「営農組合を核にした市民参加による地域農業の管理」

3. 内平 隆之（神戸大学農学研究科地域連携センター）

「神戸市水道筋商店街におけるムラの拠点づくり支援と学生参加」

コメンテーター：3人を予定

企業やNPO、都市住民など、多様な主体の協働による農業・農村の管理・発展について、兵庫県下の先進的な取り組みや支援体制に関する報告を通して議論する。また、協働やネットワークの広がり「地域キャピタル」との関係、大学・研究者の役割についても考える。

5. 個別報告 10月25日(土) [9:30~15:30]

個人・連名報告は1件につき、30分(報告20分、質疑応答10分)を予定しています。筆頭報告者には、会員の資格が必要です*。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急学会事務局までお申し出下さい(学会HPからのダウンロードも可能です)。

*学会当日までに、入会金と年会費の納入が必要です。

個別報告の申し込み方法については、後掲【付-2】を参照してください。特に、従来とは方法が異なる点がありますので、十分に注意してください。

科学研究費などの共同研究者がそれぞれ報告し、議論を深めるための取り組みとして、「グループ報告」を受け付けます。例えば、5名で報告する場合2時間程度の枠を取り、その範囲で座長の進行により議論を深めます。「グループ報告」をご希望の場合、その旨申し込みハガキにご記入ください。

今大会では、昨年に引き続き、第2日目に個別報告を行い同日夕刻より懇親会を開催します。これは、特に若手研究者が、個別報告時には十分議論できなかった点も含めて、多くの参加者と意見交換・交流してもらうことを目的にしています。個別報告・懇親会への積極的な参加を期待します。懇親会の参加申し込みについては、下記6(3)を参照して下さい。

6. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約下さい。なお、神戸三宮駅周辺のホテルが近くて便利ですが(JR三宮駅、阪急三宮駅から会場まで約30分)、JR大阪駅周辺のホテルからでも会場まで約1時間です。

(2) 昼食について

神戸大学周辺には、徒歩範囲で昼食できるレストラン・食堂がありません。第2日目(10月25日)の昼食は、生協食堂が営業をしていますので、そこをご利用下さい。第3日目(10月26日)の昼食は、お弁当を手配しますので、前日(10月25日)16時までに受付で注文をして下さい。なお、学内にはコンビニエンスストアもありますので、弁当等を購入することも可能です。

(3) 懇親会の申し込みについて

懇親会への参加を、下記の要領で事前に申し込まれた場合には、通常の懇親会費から500円をディスカウントします。

期 日：10月19日正午

宛 先：food.econ.kobe@gmail.com

(懇親会の事前申し込み以外の要件は受け付けません)

メールの件名：懇親会

メールの本文：1行目に氏名、2行目に所属、3行目に連絡先電話番号、4行目以降に連絡先住所(左記以外の情報は書かないでください)

注意：事前申し込みが完了すれば、遅くとも10月20日正午までに受付完了のメールを返送いたしますので、お手数ですが、プリントアウトしたものを当日、懇

親会受付にご提示ください。あるいは、携帯メールであれば、画面をご呈示いただいても結構です。ご呈示なき場合には通常料金とさせていただきます。

なお、事前に申し込まれたにもかかわらず懇親会に参加されなかった場合には、ディスカウントした会費をお支払いいただくべく、請求書をお送りさせていただきます。

(4) 大会申し込みハガキについて

本年度より、大会ハガキは個別報告に申し込む者のみが提出する形式になりました。大会そのものへの参加に、申し込みは必要ありません。

なお、大会シンポジウムに関して意見を寄せたい場合には、上記にかかわらずハガキを利用することができます。

【付 - 1】神戸大学アクセスマップ

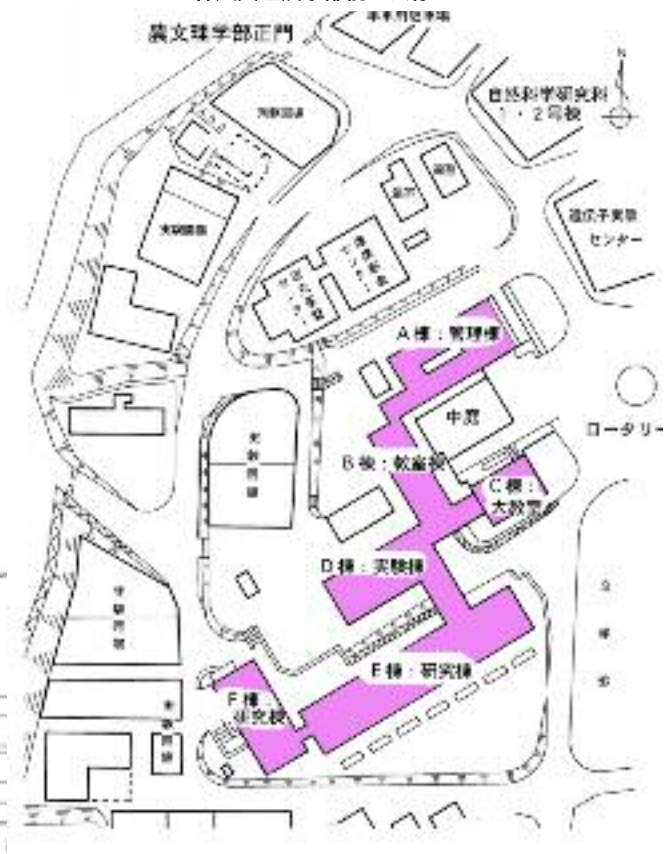
[JR 六甲道駅・阪急六甲駅から]



[文理農学部前バス停から]

滝川記念学術交流会館

神大文理農学部前バス停



神戸大学への交通手段について

J R 神戸線六甲道駅または阪急神戸線六甲駅下車、神戸市バス36系統（鶴甲団地行き）にて神大文理農学部前下車、徒歩すぐ。（阪急六甲駅から徒歩約15分）

J R 六甲道駅まで：J R 大阪駅から快速で約20分、J R 三宮駅から快速で約5分

阪急六甲駅まで：阪急梅田駅から特急に乗車、西宮北口で普通に乗換約30分

阪急三宮駅から普通で約7分

なお、下記のHPもご参照下さい。

神戸大学トップページ アクセス・キャンパスマップ 六甲台地区 農学部

(<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/bun-ri-nou.htm>)

神戸市バス時刻表は、同じページの下の方に神戸市交通局へのリンクがあります。

(<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/54/020/time/kei036.htm>)

【付 - 2】 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法、個別報告論文投稿に際しての注意事項などについて

(1) 様式

本学会HP (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/arfe/>)にあるフォーマット(一太郎版、ワード版)をダウンロードして下さい。

必ずワープロで作成して下さい。

今大会では、個別報告要旨を「大会報告要旨」には収録しません。大会開催までに学会HPにアップし、大会期間中は受付場所等に関連できるようにしておきます。

(2) 申し込み方法

個別報告の希望者は、8月8日(金)必着で同封のハガキにより申し込みを行い、8月18日(月)必着で、以下の1)2)の書類を本学会HPにあるフォーマット(一太郎版、ワード版)をダウンロードして、地域農林経済学会事務局宛(本状末尾に掲載)に郵送で提出して下さい。締め切り日以降は受理しませんのでご注意ください。

<提出すべき書類>

1) 報告要旨: 3部

2) 個別報告申請票: 1部

* 報告要旨に加えて、「個別報告申請票」を提出していただくことになりましたので、ご注意ください。

パワーポイントの利用を希望する方は、申し込みハガキの該当欄に印をつけて下さい。パワーポイントは、個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPCで報告していただきますので、ウインドウズ対応のソフトで作成のうえ、報告当日にフラッシュメモリー、CD等を持参して下さい。(オフィス2007は使用不可)

(3) 個別報告論文として投稿を希望する方へ

「個別報告論文投稿要領」(下記)の2.にしたがって、10月18日(土)(消印有効)までに、「大会前提出原稿」を個別報告座長*および学会編集委員会(「個別報告論文投稿要領」の末尾に掲載)の両方宛てに1部ずつ郵送して下さい(片方のみへの郵送、電子メールの受付は認められませんので、ご注意ください)。

* 個別報告座長については、学会HPで確認して下さい。

* 個別報告の「申し込み」や「大会前提出原稿」に関するお問い合わせは、本状末尾をご覧ください。

「個別報告論文投稿要領」

1. 投稿資格および掲載料

投稿者は本会の正会員および名誉会員に限る。ただし筆頭者以外の共同執筆者に非会員を含むことはさしつかえない。また当年度の地域農林経済学会大会における個別報告者で、2. の大会前提出原稿を提出した者に限る。

7. の審査により掲載を許された者は、下表の掲載料（別刷 30 部の代金も含む。30 部以上希望する場合は、別途印刷実費負担が必要）と下記の英文サマリー校閲費を入金するものとする。掲載料は 2 年ごとに見直す。

なお掲載年までの会費の入金を、掲載の必要条件とする。英文サマリ－の校閲（編集委員会で一括して業者に委託）については、和文論文の掲載を許された者から、別途一律 2 千円を徴収する。

～ 4 頁	5 頁	6 頁
3 万円	4 万円	5 万円

2. 大会前提出原稿

大会個別報告の 1 週間前（消印有効）までに、投稿を前提とした原稿を個別報告座長と編集委員会に郵送すること（電子メールでの提出は認めない）。本原稿をもとに個別報告を行い、報告時の議論（特に座長コメント）を踏まえて、3. の投稿原稿を完成させること。本原稿には 4. の原稿の書き方を適用しない。図表を含め 12,000 字以内（英文の場合は概ね 5,000 単語）で、サマリーは不要。

3. 投稿原稿

原稿はワープロを用いて執筆する。原稿 1 枚あたりの字数を明記したうえで、図表とともに 3 部（ただし 2 部は複写でよい）、ならびにそれらを保存したフロッピー・ディスクなどを添えて提出する。なお表は、PDF や写真などの画像データでなく、編集可能な文字データ（Word、Excel、一太郎、PowerPoint などで作成した表）で提出すること。

4. 投稿原稿の書き方・枚数

- (1) 原稿はすべて横書き・新かなづかいとし、特殊な用語以外は当用漢字を使用すること。文章を段組（1 頁あたり 1 行 23 文字（英文の場合は概ね 6 ～ 10 単語）× 43 行 × 2 段）にし、サマリーと図表を含めて 6 頁以内に収まることを確認した上で提出すること。やむを得ない場合、7 頁（掲載料 6 万円）を認めることもある。
- (2) 和文論文には 150 単語以内の英文サマリーとその和訳を付し、英文論文には 400 文字以内の和文サマリーを付すこと。

5. 図表の作成

図、表は例えば、図 1、表 1 (Fig. 1, Table 1) と表示すること。図はかならず正確、明瞭に描き、その際、図の説明や記号等を付記すること。なお図、表は挿入場所の欄外に朱書きで明記し、原稿の所要箇所に貼りつけること。

6．注・引用文献等の記載方法

- (1) 論文構成は、節〔1. , 2. , ...〕、中節〔(1), (2), ...〕、小節〔(1), (2), ...〕の順での区別を原則とする。
- (2) 句読点はコンマとピリオド、単位は% , kg , ha などの略号であらわすこと。
- (3) 注および引用・参考文献は原稿末尾に一括して記載すること。参考文献は、必要最小限にとどめること。
- (4) 引用文献は注記を原則とし、以下の要領による。

1) 邦文の場合

- a. 著者名『書名』(シリーズ名), 出版社, 出版年(奥付けによる), ページ.
- b. 執筆者名「論文名」, 編著者名『書名』(シリーズ名), 出版社, 出版年, ページ.
- c. 執筆者名「論文名」, 『雑誌名』巻号(年月), ページ.

2) 欧文の場合

- a. 名頭文字. 姓, 書名(出版他: 出版社, 出版年), p. (または pp.)
- b. 名頭文字. 姓, “論文名”, 雑誌名, 巻号(月, 年), p. (または pp.)

7．審査

常任編集委員会が定める所定期日(個別報告希望者に別途文書で通知する)内に受け付けたもののみを対象とし、審査員による1回目の審査、常任編集委員による2回目の審査を経て、最終的には常任編集委員会が採否を決定する。

8．著者校正

著者校正を1回行う。その際、印刷上の誤り以外の字句修正、あるいは原稿になかった字句の挿入および図表の修正は認めない。

9．掲載号について

大会個別報告論文は、大会翌年度の『農林業問題研究』6月号あるいは9月号に掲載される。

10．論文等の公開

掲載論文等は、インターネット上で公開することがある。

11．投稿原稿の提出

「大会個別報告掲載申込書」と「二重投稿調査書」を投稿原稿に添えて、下記の編集委員会宛に提出すること。また、提出封筒の表に「大会個別報告論文原稿」と朱書きすること。

(〒602-8048) 京都市上京区下立売通小川東入る

中西印刷株式会社内 地域農林経済学会編集委員会

(平成20年5月20日改正)

個別報告に関する書類の送付先、問い合わせ先など。

(1) 書類の送付先

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る

中西印刷株式会社学会部内 地域農林経済学会事務局 (担当 : 河合)

TEL:075-415-3661、 FAX:075-415-3662、 E-Mail:arfe@nacos.com

本学会ホームページ : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/arfe/>

(2) 個別報告の「申し込み」に関する問い合わせ先

企画担当理事 (神戸大学・小野雅之 : masaono@kobe-u.ac.jp) まで。

(学会事務局では、問い合わせは受け付けません。)

(3) 個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先

編集委員長 (京都大学・小田滋晃 : oda@kais.kyoto-u.ac.jp) まで。

(学会事務局では、問い合わせは受け付けません。)